

聖蹟公園清掃美化活動

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年04月04日

2018年3月30日（金）朝8:30、聖蹟公園にて清掃美化活動を行いました。

私たちは会社の仲間を募り、活動名「品川フラワーレンジャー」で、毎年数回花の植え替えを行っております。



昨年12月に植え替えをした花壇（左の写真）は、今は中央と右のとおりになり、ハボタンも大きく育ち満開です。



園内のたばこの吸い殻など、ごみを拾っています。



以前園内にあったたばこの吸い殻入れが撤去されましたが、それほど多くの吸い殻は捨てられていませんでした。

そうは言っても、このように捨てる人はいます。



無事清掃が終わり記念撮影！ ありがとうございます。



清掃を終えて会社に戻ると、会社花壇が目に入ります。いま満開です。

<山手通り側花壇>



<旧海岸通川花壇>



花壇の手入れをしていましたら、通行人の方から「いつもありがとう」と、お花があることを喜んでいただきお礼を言われました。

平成30年3月30日

環境記者 小野文義

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2018年04月04日

八潮花図鑑～春編～

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年04月05日

3月25日、東京の桜満開！春分の日以降はほぼ毎日晴天。気温は4月～初夏並で、私たち人間にとっては辛いものがありましたが、花散らしの雨がなかったため、いろいろな桜がどんどん開花。そして満開まで何回もお花見を楽しめる3月の最終週となりました。

定点観測（3月23日～30日）と、24日のごみゆにていぷらざ八潮～児童公園～八潮公園～八潮地域センターの桜（最後の一枚は30日）をお楽しみください。

3月 23日		
24日		
25日		

26日		
27日		
30日		



平成30年4月1日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年04月05日

しながわ区民公園（改修後の園内紹介）

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年05月22日

平成28年度から園内を段階的に改修工事が行われ、北側、中央（西側）ゾーンの一部が利用できなかったのですが、平成30年4月から利用できるようになりました。休日は多くの家族連れでにぎわっています。



「しながわ区民公園パークセンター」
広場はイベントができるように広がっており、テーブルと椅子が設置されています。
パークセンターの隣に「にじいろ保育園」もできました。



「子どもの遊び場」



「しながわ子ども冒険ひろば」



「バーベキュー場」

炊事場一棟あり屋根がついています。

15基の野外釜があります。

「さくら広場」

お花見の賑わいから静かな広場になりました。

東屋は新緑に覆われ風情があります。

涼を求めての散策にいかがでしょう！



平成30年 5月14日

真壁美枝子

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2018年05月22日

八潮花図鑑～5月～

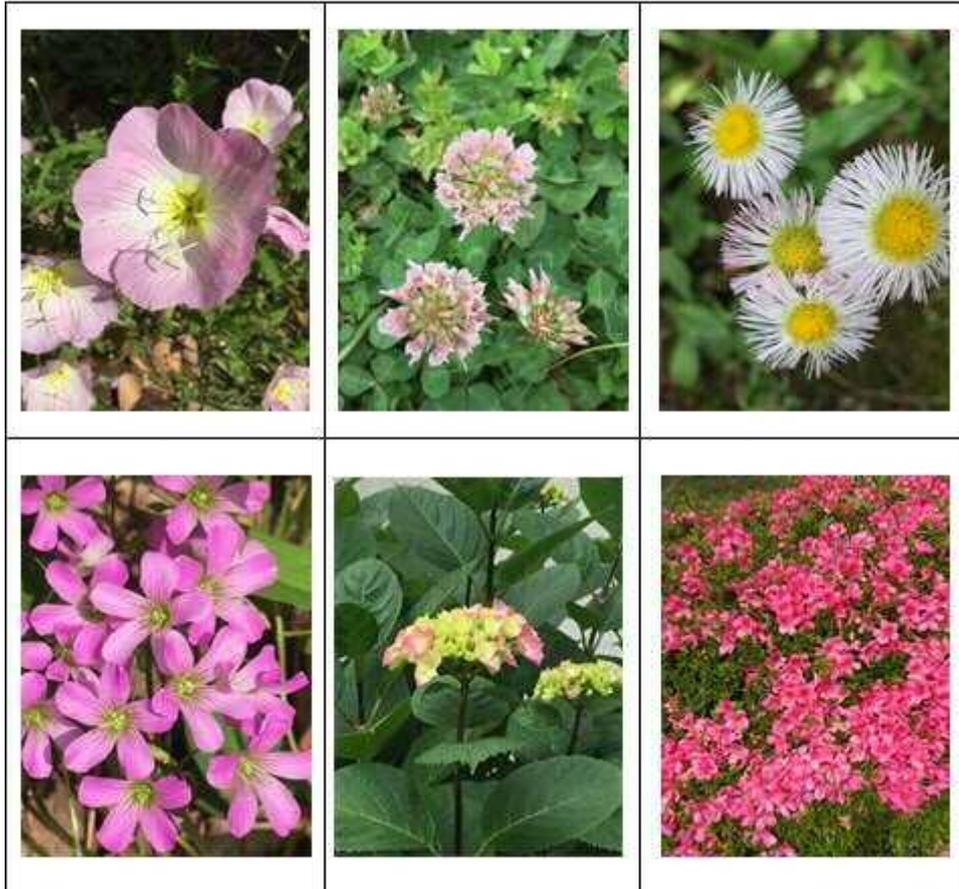
カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年06月04日

目には青葉

山ほととぎす 初ガツオ —山口素堂—

様々な生命のエネルギーが自然界に満ちて来る季節。こみゆにていふらざ八潮の門扉を入ったすぐのところの直径3～5cmぐらいのピンク色の花の群生を見つけました。調べてみると、「ユウゲシヨウ（アカバナユウゲシヨウ）」。これを手始めとして、八潮のピンク色の花を探してみました。



青葉の隙間から青い空を見上げると・・・。春の花たちの饗宴の置き土産として、新しい生命がたわわに実をつけていました。上段はゴールデンウィーク明け、下段は先週の様子です。



青葉ばかりの樹木たちも、ちゃ〜んと花を咲かせていました。芳香を漂わせるものもあります。憂鬱な梅雨を前に森林浴で大いにリフレッシュしましょう。上段は花、下段はその木の全体像です。最後の一枚は東品川海上公園で撮影したのですが、八潮の緑道公園でも見つけましたよ。



カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年06月04日

「花交差点の仲間たち」花壇の植替え

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年06月27日

日時：平成30年6月10日（日）9時～10時 参加者：71名

場所は南大井2丁目大森海岸駅前のマンション7棟前の歩道花壇の植え替えです。

台風5号接近で雨の心配をしましたが、植替え時は辛うじて小雨がパラツク程度でした。地拵え(じごしらえ)やレイアウト決めなど事前準備もあり、植え替えはスムーズ、天気の変遷を気にしてスピードアップの40分で終了しました。

(終了後本降りになり、花たちには良い雨となりました)

*花苗は7種類

初デビュー

- ① ジニア・プロフュージョン
- ② キキョウ・・・暑さに強い
- ③ ペンタス
- ④ サルビア
- ⑤ メランポジウム
- ⑥ マリーゴールド
- ⑦ ニチニチソウ



今回も鈴ヶ森中学校美化ボランティアが参加し、地域のみなさんと一緒に植替えを行いました。



地域の若者や 小さな仲間も参加です(^_^)





夏から秋まで楽しめるよう、花壇の花たちを可愛がり見守ってください。
歩道を行き交う人びともきっと和みますよ(*^-^*)

今回も鈴ヶ森中学校美化ボランティアが参加し、地域のみなさんと一緒に植替えを行いました。

歩道花壇は国土交通省の方2名の立会いと、大規模修繕のマンションもあり歩道が狭くなっているため、大井警察署の方に交通整理を行っていただき、無事終了することができました。

平成30年6月10日
環境記者 真壁美枝子

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2018年06月27日

貝の趣味から見た海岸の環境変化

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年07月11日

貝の趣味も50年近くになり、集めた貝は段ボール箱で14箱になりました。最近は奄美、沖縄へ貝友と出かけ、たくさんの色々な貝を拾って来ていますが、海岸の様子が気になります。

きれいに見える海岸ですが、昔はブラックボール（コールタールの様な物質）が多量にあり、砂浜にひざを着くとズボンのひざの所が真っ黒になっていました。でも最近はその付着も殆どなくなり、その点では海岸はきれいになりました。しかし、最近はそれに代わってプラスチックの漂着が多くなりました。

5mm以下の小さな貝を見るため、海岸の貝ラインの貝を砂ごと自宅へ送って、家で砂の中から実体顕微鏡を用いて貝を取り出すのです。大きなゴミは現地で取り除きますが、貝砂に混ざって小さなプラスチック（マイクロプラスチック）が多く見られる様になりました。写真は貝砂14リットルほどから顕微鏡で見られる範囲で分別したプラスチックですが結構な量になります。



きれいな奄美の海岸



貝砂14リットルからのマイクロプラスチック



一部拡大



発泡スチロールに付いたエボシガイ

発泡スチロールに付いたエボシガイは成長するともっと大きく重くなり、海の中に沈んでいくのではないかと考えています、もしかしたら結構な量が海中で漂い、潰れて、発砲スチロールだけが浮き上がって来るのではと（但し圧力で潰れて小さくなって）思います。潰されて小さくなった発砲スチロールも混ざって見られています。

ただ、海岸全部がこの様な状態ではなく、貝の集まっているラインは元々その他の漂着物も集まる所なので特に目立ちます。ブラックボールの規制は効果がはっきりと見られますが、近年はプラスチックの漂着が多くなっているのが感じられ、海でのゴミのポイ捨ては各自気を付けなければいけないと思います。

この漂流プラスチックは奄美、沖縄共に太平洋側で多く、東シナ海側では少なく感じます。

環境記者 青野良平（平成30年7月2日）

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年07月11日

八潮花図鑑～7月～

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年07月20日

立葵（タチアオイ）の花が咲き始めると梅雨入り、天辺の花が咲き終わると梅雨明け、といわれています。立葵は通称コケッココ花。鼻と顎にその花びらをつけて「コケッココ〜！」と叫びながら走り回っていたのは遠い夏の日の思い出です。

八潮にはそのタチアオイの仲間の木槿（ムクゲ）があちこちで咲き始めました。サルスベリに朝顔、夏の花たちのカーニバルの始まりです。



卵の花の匂う垣根には、ラベンダーやセージが地中海のエッセンスをほんのり演出してくれています。目線をぐっと下げると・・・直径1mm～5mmの世界にも、夏到来！



最後の1枚—小さな米のような花は、オオバコ。茎で引っ張りっこをした草相撲の茎の先には花が開いていました。別名ガエルツバ。「死んだカエルをこの葉でくるんでおくと生き返る」と信じていました。中国では車前草と呼ばれている生薬のひとつ。「雑草」とひとくくりで呼ばれている草花には、多くの秘密が隠されているようです。

平成30年7月18日
環境記者 小滝静子

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年07月20日

第35回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2018年08月21日

環境情報活動センターは、環境記者制度を運営しています。

環境記者登録をした品川区在住、在学、在勤の方に、身近な環境情報をメールでお寄せいただいています。投稿された記事は、環境情報活動センターのホームページに掲載されます。また、年に2、3回、記者さんが集まって情報交換会をしています。

7月13日(金)に、35回目の環境記者情報交換会を開催しました。今年度に入って初めての会合となります。環境記者の皆さんに、日頃の活動の様子や、興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。



プラスチックによる海洋汚染は、世界的に注目されている環境問題です。今回の会合では、品川の海の観察歴が50年近いという青野さんが、海砂に混じったプラスチックを持参してくださり、皆で、虫眼鏡で見ってみました。青野さんの最近の記事はこちらです。

「貝の趣味から見た海岸の環境変化」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3475>

ボランティアグループ「花交差点の仲間たち」は、地元の環境整備に努め、近隣の歩道の清掃と花壇の整備を行っています。

メンバーの真壁さんが、最近の花壇の植替えの様子を投稿してくださいました。

「『花交差点の仲間たち』花壇の植替え」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3462>

八潮にお住まいの小滝さんは、美しくタイムリーな写真とともに「八潮花図鑑」をシリーズで投稿してくださっています。

「花図鑑～7月」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3496>

真田さんは、段ボールコンポストを始めてみて、生ごみが資源になることを多くの方に知ってもらいたい、という思いをきっかけに環境記者に登録されました。コンポストの記事は、環境情報活動センターの情報誌「ECOだより」にも掲載されました。

「生ごみコンポストを始めて半年が経ちました」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3291>

環境情報活動センターのホームページに環境記者さんが投稿してくださった記事が掲載されています。よろしかったらご覧になってください。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/>

区民の皆さまにお気軽に環境記者活動に参加していただけましたら幸いです。

カテゴリ : ◆情報交換会

投稿日 : 2018年08月21日

騒音計を使ってみました

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年08月23日

広報しながわ7月1日号で下記の記事を見つけました。

測定器を貸し出します

騒音計、振動計、放射線測定器の貸し出しを行っています。

区内在住か在勤の方

貸し出し期間／15日以内

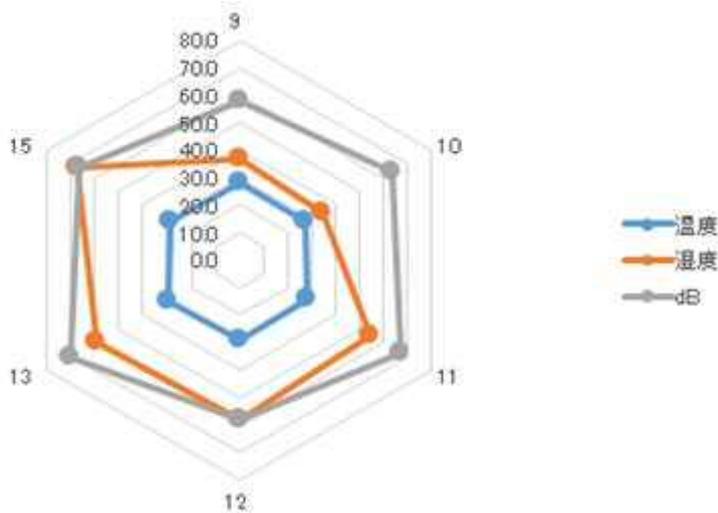
印圖電話で、貸し出し可能か確認のうえ、環境課指導調査係（本庁舎6階☎5742-6751 Fax5742-6853）へ

一昨年のエコワット無料貸し出しに続く第二弾として、騒音計に挑戦しました。八潮地区は京浜運河を航行するレジャーボートや漁船、モノレールも頻繁に通ります。そして夏には自然が豊かなおまけとして蝉が早朝から大合唱。さて、どんな音がどの程度の数値を示すのでしょうか？

まずは定点観測。京浜運河・モノレール側のベランダの一角を測定場所としました。部屋側には、温度計・湿度計がついている時計を設置。3分程度計測し、最大値を記録しました。朝一番の状態はほぼ同じ環境で漁船・モノレール・飛行機・蝉の声が聞こえていたので、温度・湿度との関連性をみるためにグラフにしてみました。また、天候については3回写真を取ってみました。

7月

日	曜日	時刻	図	dB	気になった音の元	温度	湿度	天候	写真		
9	月	7:00	9	58.0	漁船・モル・ル・蝉	28.3℃	37%	薄曇り			
		8:00		58.9		28.4℃					
		12:00		59.9		28.7℃				晴れ・雲多し	
		21:00		56.8		28.2℃					
10	火	7:00	10	63.8		27.8℃	35%	快晴・ほぼ無風	1		
11	水	7:00	11	67.2		28.5℃	55%	薄曇り			
		8:00		64.9		28.8℃				56%	
		16:00		64.2		30.3℃				54%	晴れ
		19:00		69.3		30.0℃				54%	
		21:00		64.6		29.8℃				58%	
12	木	7:00	12	58.4		29.4℃	58%	晴れ			
13	金	8:00	13	70.1	モーターボート・蝉	29.5℃	59%	晴れ・薄雲	3		
		9:00		71.0		30.4℃				51%	
15	日	6:00	15	66.7		28.7℃	68%	晴れ・微風			



①



②



③



初日は時間帯による変化がほとんどありませんでした。二日目以降は温度と湿度及び天候による記録に焦点を置いてみました。結論としては、計測日数が一週間であったためか、有効なデータは取れませんでした。計測器の貸し出しはもう一週間延長できましたが、天気予報が曇天・雨天なしの晴れ続きであったため、今回はここで終了。グラフでは、湿度はあまり関係ない?!と出ましたが、同じ条件の作り方は難しいと感じました。

平成30年8月7日
環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年08月23日

聖蹟公園清掃美化活動

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年08月30日

私ども（東京サラヤ㈱）では、社員から有志を募り、「品川フラワーレンジャー」という活動名で年数回、聖蹟公園花壇において「みどりと花のボランティア活動」を行っており、今回の活動をご報告します。

日時：2018年8月24日（金）8：30－8：45

場所：聖蹟公園花壇



今年は例年になく夏の日差しが強烈で、花を枯らさないよう、都度水撒きをしてなんとか維持しております。清掃では、ビニール傘、ハンガーなどの大きなごみから、タバコの吸い殻などのごみ拾いを主に行いました。



清掃活動の時間には品川は台風の影響も少なく、風が少し強いかな程度で、無事終了いたしました。

平成30年8月24日

環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年08月30日

ダンボールコンポストを始めて1年が経ちました

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年08月31日

相変わらず飽きることなく毎日ダンボールコンポストと向き合っています。

半年間で50キログラム程度の生ごみを土に還したので、一年間で100キログラムの計算です。二人暮らしでこの量なので、4, 5人家族の場合はもっと多くの生ごみが出るのでしょうか。生ごみは家庭から出るごみの中で、唯一自分たちで資源化できるごみです。

ダンボールコンポストとは、台所から出た生ごみをなるべく細かく刻み、軽く水気を切って、ダンボールコンポストに混ぜ込むだけ。虫の侵入を防ぐため古布でカバーをし、一日一回程度中身をかき混ぜます。そうすると微生物が生ごみを分解しますので、嫌な臭いも発生せず、虫も湧きません。

私はダンボールコンポストを知るまで、生ごみは可燃ごみに出していました。ゴミ出しの日まで外に置いておくので、生ごみの腐敗が進み、嫌な臭いが発生したり虫が湧いたりしたため、生ごみを出すのが怖くなっていました。しかし、今ではその心配がなくなり、ゴミ出しの日に関係なく生魚を捌くまでになりました。

分解された生ごみは栄養となり、堆肥となります。現在、私はその堆肥で、きゅうり、トマト、紫蘇、バジルなどの夏野菜を育てています。生ごみ堆肥は栄養価が高く、野菜や花が元気に育つそうです。今では野菜作りが趣味となり、毎日収穫が楽しみです。

来年は区民農園を借りることができれば、生ごみ堆肥を使ってたくさんの野菜を育てたいと思います。



平成30年8月28日

環境記者 真田千加子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年08月31日

衣類のリメイク紹介

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年09月04日

自宅のきもの整理でゆかたの反物生地が二本でできました。

近頃は「ゆかた」や化繊のものも買い取る業者があるようです。処分するなら10円、100円でもと思いますが、処分前に「何かに使えないか？」を考え、ゆったりチュニックとクッションカバーに作り替えることにしました。



◆チュニック

反物生地は 35 センチ幅 若丈を決め前身頃 2 枚と後身頃 2 枚 袖の部分 2 枚を準備

我が家にはミシンがないので手縫いです。

直線縫いがほとんどですが、柄合わせと襟ぐりのバイヤス地を作るのに手間がかかりました。(バイヤスは既製品を使った方が簡単です)

目はしよぼしよぼ、肩と指はこりこりです。

延べ二日間 5 時間あまりで完成しました(*^-^*)

反物一反から若丈の短いものなら 2 着できそうです。



◆クッションカバー

クッションのサイズ 53 cm 生地幅が足りないので半幅を足して縫い合わせました。

当然手縫いです。

切り口がほつれるので袋縫いし、ファスナーは付けず枕カバーの様に中に織り込むようにすると時短です。

◆ランプシェードカバー

生地は何も加工せずシェードにタックを取りながら巻き付けただけです。藍色なので涼しく感じます。

「物を大切にする」、「無駄をなくす」・・・身近なところでエコライフ

異常気象は温暖化が一因ともいわれていますので、再利用やリサイクルでゴミを減らすことはCO²削減につながると思います

平成30年 8月 5日

環境記者 眞壁美枝子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年09月04日

花壇の食草園はいま満開です

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年09月13日

下の写真は私が勤務する東京サラヤ(株)本社の花壇です。2018年9月11日(火)以前にもご案内していますが、食草園を兼ねた花壇です。この天候のせいで枝葉がよく伸びるため、剪定の回数も増えています。通行する人の邪魔にならないよう、花壇から歩道に伸びたものを除くためと、あまり木々の背が高くないようとの思いから行っています。剪定作業時によく近隣の方から話かけられます。「ここを通ると草花が生い茂り、自然の中に居るようで、とても気持ちいいです。花も派手でなく、本当に感じがいいです」と。「きれいですね」「ありがとうございます」という声もかけられるのですが、しっかりと感想を言われたのは初めてです。今の季節、シジミチョウがよく花壇に飛んできていて、いつでも見られます。アゲハの幼虫もいます。



旧海岸通側には大きな甘夏の木（下の写真）がありますが、実が沢山ついています。わかりづらいので色を付けました。（左）



実に色を
つけました



本社玄関出て右側の花壇にレモンの木があります(黄色枠)。これも実が付き始めました。



拡大しましたが、わかりづらいのでこれも色を付けました。



実に色を
つけました



平成30年9月12日
環境記者 小野 文義

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年09月13日

八潮花図鑑～9月～

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年09月28日

9月24日は十五夜、そして1日ずれて25日が満月だそうです。あいにくと品川の空には雲が多く「お月見」を楽しむことはできそうにもありません。ただ、雲の切れ間があるので、「お月見」がラッキーな方もいるのではないのでしょうか。

「お月見」の定番はススキですが、八潮では夏の花たちがまだまだ頑張っています。ということで今回はちょっと趣を変えて、名前が可哀想な花たちを取り上げてみました。上段が「ヘクソカズラ」右はその全体像、中段は「ヤブガラシ」と全体像、下段はおまけのランチ風景、題して「花と蝶」。





見つけました秋の花たち！





曼珠沙華＝彼岸花がバス通り沿いのあちこちに咲いていました。バス停「品川総合福祉センター前」には群生がキバナコスモスとともに色を競っています。ススキならぬ「猫じゃらし」も涼しげに秋風に身を任せています。樹木には実りの秋が……。色づくのが待ち遠しいですね。そして、最後の1枚はこみゅにていぶらぎ八潮のグランド脇で見つけた金木犀。咲き始めのためか、あの芳香を嗅ぐことはできませんでしたが、花開く日を待っているようです。

平成30年9月24日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年09月28日

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年10月31日

私の所属する東京サラヤ(株)は社員から有志を募り、「品川フラワーレンジャー」という活動名で、聖蹟公園花壇で定期的に「みどりと花のボランティア活動」を行っています。
今回、今年3回目の活動を行いましたので、そのご報告をします。

日時：10月26日（金）8:30～8:45

今回は2名の管理職を含め、3名で行いました。

うっすらと雲がかかった朝、聖蹟公園の簡易清掃を行いました。



ゴミ拾いや花壇周辺の清掃。



花壇の草抜き、園内の遊具類の目視点検をして終了。お疲れ様でした。
11月末には冬の花に植え替えを予定しています。

平成30年10月26日

環境記者 小野文義

投稿日：2018年10月31日

« 八潮花図鑑～9月～

LED灯籠で街を明るく

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月01日

今回ご紹介する灯籠は、7月21日（土）に環境情報活動センターの環境学習講座「LEDの行灯（あんどん）を作りましょう」で作った行灯と同じものです。環境にやさしいLEDの光が街を明るくする、活性化する、そんな気持ちを持ちながら以下ご紹介する活動を行っています。

しながわ水辺の観光フェスタ（10/6）で福栄会裏の目黒川沿いに170個（区立城南第二小学校製作）飾りました。また、現在区立日野学園3年生が100個製作中、区立品川学園でも100個以上製作予定です。

（注）灯籠は主に室外に設置されるのに対し、行灯は室内で使用されるものです。

◆品川宿まちづくり活動 灯籠プロジェクト

地元の協議会である「旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会」のまちづくりの取り組みとして始めた「灯籠プロジェクト」は旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会、しながわ水辺の観光フェスタ実行委員会、地元住民、東京サライが協力して推進しています。

活動としては、プロジェクトで開発した灯籠キットを小学校の授業で使ってもらい、それを地元の路地に飾り地域住民に見てもらっています。協議会と地域活性化やまちづくりに貢献していく活動をしています。

灯籠キットと組立図



2017年しながわ運河秋祭りに展示



◆灯籠ロード開催

10月6日（土）夕方、灯籠キットを使った灯籠170個を展示。

これは地元の小学校である品川区立城南第二小学校3年、4年生が今年創立80周年にあたり製作したものです。

下左の写真は灯籠設置に夕方4時半から約1時間半かけて協力をいただいた協議会、地元住民の方々です。

取り付け前の会場と灯籠設置作業の様子 なんとか開始の18時に設置完了



下写真、会場奥から声が聞こえてきました。あっという間に見学者でいっぱいになり展示は大成功です。



灯籠材料が4年前は1個1,000円以上したものが改良を重ねて、今では半額程度になり綺麗な作品が生まれやすくなりました。



小さなまちづくりの活動も少しずつやりのあるものになり、来年は他校の参加もありそうです。最後に旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会の参加スタッフと記念撮影。お疲れ様でした。（午後9時）



品川区立城南第二小学校三・四年生製作
 地元小学生の手作り灯籠展示会
 主催 旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
 協賛 東京サヲヤ株式会社
 しながわ水辺の観光フェスタ実行委員会
 協力 なぎさの会



年々この活動は広がりを見せ、2014年開始から灯籠の数で比較すると5倍となり、吊るす距離は180mにも及びます。10月17日に出前授業をした品川区立日野学園も授業で96個製作しました。文化祭やまつりなど展示をしたいとのことでした。

協議会のまちづくり活動として「灯籠プロジェクト」は今回で5年目になりました、今後も継続いたしますので社員参加、協議会、地元住民どなたでも応援宜しくお願いいたします。

平成30年10月29日
 環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年11月01日

もう冬がそこまで来ています

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月06日

今日10月29日は二十四節気では霜降にあたります。朝夕がぐっと冷え込み、霜が降りることです。あんなに暑かった夏も終わり、あっという間に深秋、もう冬がそこまで来ています。花壇の柚子の木にそんなことを思わせる風景がありました。



写真は東京サラヤ(株)花壇の柚子の木です。赤とんぼ（アキアカネ）が羽休めをしています。近くまでカメラを寄せてもまったく飛ばうとしません。その隣にナミアゲハの蛹がありました。冬を越すのかな。今の気温19℃（午後4時50分）。



甘夏の木です。前回紹介した時より果実が大きくなり目立ってきました。もうそこまで冬が来ています。建屋東側の旧海岸撮り沿いの花壇は日影のせいか、何か寂しい気分にさせます。

平成30年10月29日

環境記者 小野文義

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月06日

大井埠頭中央海浜公園、秋探訪！

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月06日

10月30日(火)16：30 大井埠頭中央海浜公園に秋を探しに来ました。



桜の木の葉も落ち枝と枝の間に腹部が赤いジョロウグモが沢山いました。



夕焼けの街並みにうっすらと富士山の影が差しています。跳ねる魚を狙ってサギが飛んできました。



日が沈んできて今日の漁はおしまい。カモたちが寝床に向かい静かに姿が見えなくなりました。



夕陽を見つめる鷺です。閉園アナウンスが・・・帰ります。秋の海浜公園でした。

平成30年11月1日

環境記者 小野文義

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2018年11月06日

秋の緑道公園を歩く

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月06日

関東地方にも紅葉の便りが聞こえ始め、秋たけなわといった10月の半ば過ぎ、抜けるような爽やかな青空に誘われ、カメラを片手に八潮団地内の緑道公園を歩いてみました。

台風25号の塩害の影響か、木々の半分は緑の葉っぱで覆われていますが、半分は葉っぱが茶色になり丸まっている葉が多く、緑道公園の木々は随分被害が出ていました。今年の緑道の紅葉は楽しむ事が出来るのでしょうか・・・？



春 満開の桜の花を楽しみましたのに、ぽかぽか陽気に季節を勘違いしたのでしょうか？秋のこの時期に小ぶりながら枝いっぱいに咲く桜の花を再び楽しむ事が出来ました。「10月さくら」と言うそうです。



枝に赤い実をたわわに付けた「ピラカンサ」和名で「トキワサンザシ」と言い、バラ科に属し、毒が強く人間が食べると嘔吐や呼吸困難を起こすそうです。では、鳥たちは死なないのでしょうか・・・？

10月頃から時間差で熟すそうで、食べ物が無くなる2月頃から赤くなった実を少しずつ食べるので害は無いそうです。



土手の「キバナコスモス」も、紅葉し太陽に輝いて見える「猫じゃらし」「すすきの穂」も、秋風に揺れながら最後の秋を楽しんでいるようでした。



秋の日はつるべ落としと言われますが、真っ赤な大きな夕日もアツという間にビルの陰に隠れ、深まりゆく八潮団地の秋を感じながら歩いて来ました。

平成30年11月1日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月06日

立冬のしながわ花海道

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月14日

11月7日は立冬！ 普通関東地方でも朝夕暖房が欲しくなる季節です。
昨日降った雨で乾燥も和らぎ15℃と暖かい朝でした。
日中は曇りのち晴れ、20℃散策日和久しぶりに「しながわ花海道」を散策しました。
花街道は年二回植替えを行っています。春：菜の花 夏秋：コスモス
夏から秋のコスモスが終わり、10月に菜の花の種蒔きし芽が出始めたばかりです。

種蒔きもブースによって植え方いろいろ 一列毎「すじまき」一面「ばらまき」など



カブルのキンバトが仲良くエサ探し・・・！

対岸の花壇は百花繚乱！（スマホでの撮影ズーム限度です）



= 季節に取り残された夏の花たち =



シャッターチャンス！ ユリの花にカマキリが乗っています。

落葉している桜の枝に朝鮮アサガオが絡み付き・・・枯れ木に花を咲かせています。

平成30年11月7日

真壁美枝子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月14日

品川区内の紅葉

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年11月28日

品川神社の紅葉を観てきました。

まだ少し早いようですが色づき始めていました。今週末（11月末～12月初め）には見ごろを迎えるのではないのでしょうか。



大井町から北品川方面を自転車で10kmほど走り回ってモミジの木を探しましたが、モミジの木は5本程度しか見つかりませんでした。

この地区は目黒川沿いやマンション周辺にある桜の紅葉が目立って多い地区に感じました。

平成30年11月24日

環境記者 青野 良平

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年11月28日

八潮花図鑑～11月～

カテゴリ：平成30年度

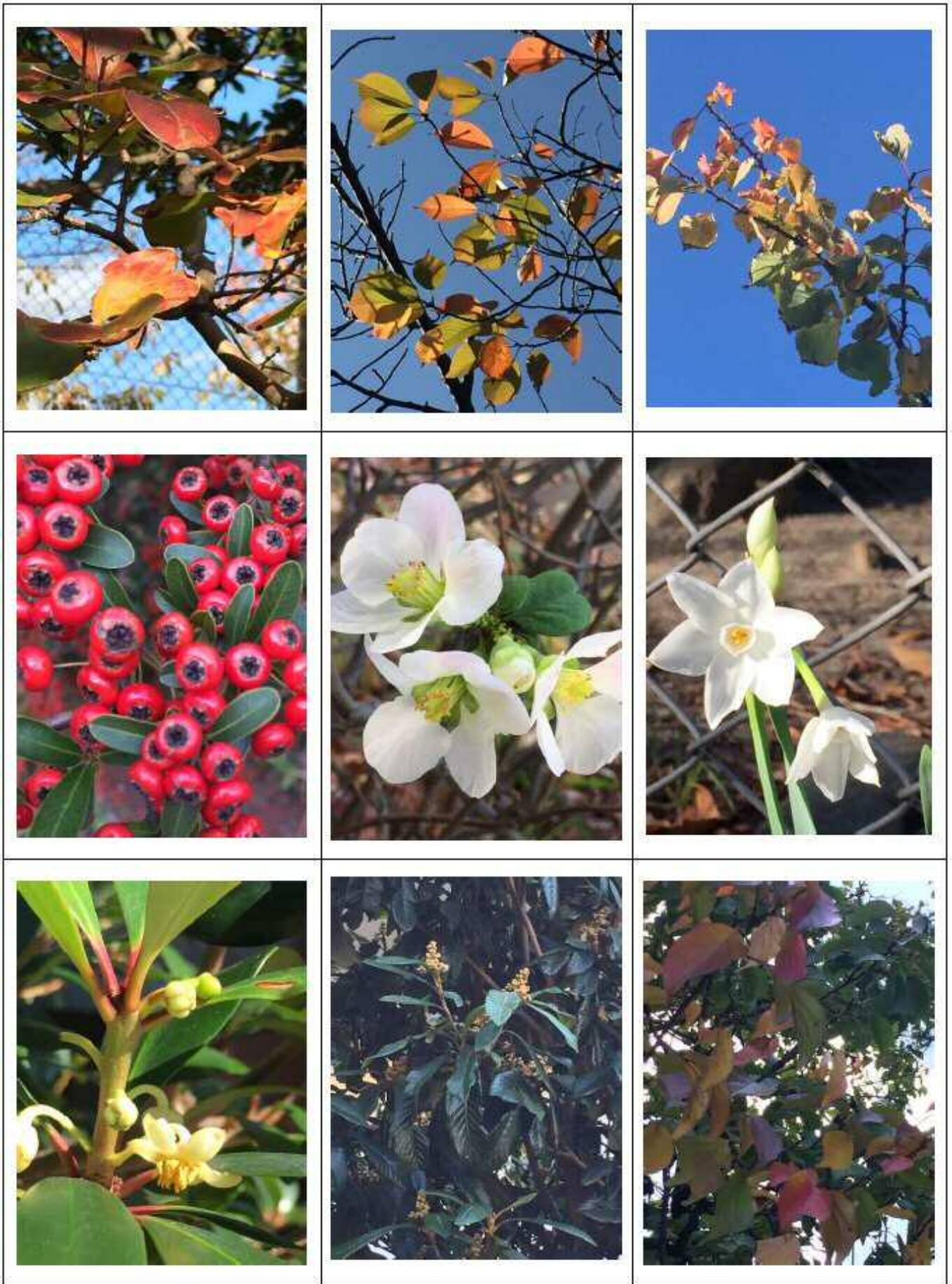
投稿日：2018年11月28日

品川区の健康診断でやや運動不足との結果が出てしまいました。これは困った！どうしよう！広報で「しながわ健康ポイント」プログラムを発見。11月2日から歩数計を携えて毎日ウォーキング開始！！

ということで、今回は八潮団地とその周囲を取り囲む緑道公園ぐるりを歩いてみました。歩数計は5,000歩をクリア。

緑道公園の明晴学園前バス停付近には、山茶花（サザンカ）があちこちに花を咲かせていました。花の少ない季節なので、赤い葉や赤い実もパチリ。





モッコクやビワの花は気がつかずに通り過ぎてしまうところでしたが、赤いものを探してキョロキョロしたのが幸いしたようです。

ところで椿と山茶花の見分け方をご存知ですか？実は、私もあまりはっきりしていなかったなので、調べてみました。特に一般的な二点に絞って表にしましたのでご参照ください。例えば、花の散り方では、椿は花首が落ちるといって武士が嫌う、という話や、椿餅についてくる葉のすべすべ感を思い起こしていただくと、わかりやすい

かもしれません。ただし、昨今はそれぞれ品種改良等で種類も増えていることと、もともと山茶花も植物分類上「ツバキ科ツバキ属」、見分けることは難しいのかもしれないね。

見分け方	椿	山茶花
花の散り方	花ごと、ポトッと落ちる	花びらがバラバラと落ちる
葉の形状	周囲にギザギザがない	周囲にギザギザしている

<参考>

<https://lovegreen.net/gardentree/p67942/>

https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1010551850

http://www.flower-photo.info/products/camellia_japonica/sasanqua.html

平成30年11月18日

環境記者 小滝静子

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年11月28日

品川区の紅葉だより

カテゴリ:平成 30 年度

投稿日:2018 年 11 月 28 日

明治神宮外苑や靖国神社が見頃になっているとの情報を入手しました。品川区では、まだ準備不足のような気配ですが、それでも「どこかにあるかもしれない！」と念じながら、連休を利用して歩いてみました。私の見つけた「紅葉」と「黄葉」をお楽しみください。そして、おまけとして来月に向けての「高揚」をご笑覧ください。

- 紅葉その1(荏原神社鎮守橋と目黒川の桜並木)



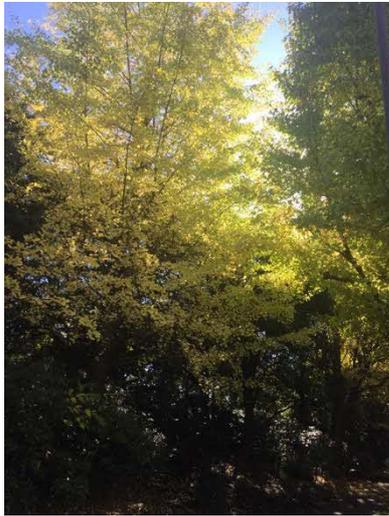
- 紅葉その2(昭和橋と目黒川の桜並木)



- 紅葉その3(桜新道南大井三・六交差点から水神公園への桜並木)



- 黄葉その1(しながわ区民公園自転車用道路のイチョウ並木)



● クリスマスツリーあれこれ





最後のクリスマスイルミネーションは品川駅港南口のイーストワンタワーのものです。それ以外は品川区内にあります。

平成 30 年 11 月 25 日
環境記者 小滝静子

「花交差点の仲間たち」 11月の花壇の植替え

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年11月28日

日時：平成30年11月11日（日）9:00～10:00

参加者：64名

南大井2丁目（大森海岸駅前～しながわ水族館入口）歩道花壇の植替えを行いました。

立冬の頃は寒暖差が激しい時季で、20℃と穏やかな小春日和となりました。

前日降った雨で花壇は湿り気もあり植替えに最適、土ほこりもたたず植えることができました。

今回も鈴ヶ森中学校の生徒7名が参加、マンションボランティア57名と一緒に手際よい作業で植替えは

あっという間に終わりました。

花苗は「シクラメン、パンジー、デージー、ノースポール、マーガレット、ビオラ、キンセンカ、コレオステプス・ルムチコーレ」8種類です。来春5月まで楽しめるような花苗です。



同じ花苗ですが、レイアウトの違いで印象もかわります。

冬の花壇を彩る花たちに歩道を行き交う人びともきっと和みますね(*^-^*)



平成30年11月25日
環境記者 眞壁美枝子

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2018年11月28日

しながわ区民公園ほかの紅葉・黄葉

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年12月12日

自然は正直なもので、毎年この季節になると私たちに季節の到来を教えてくれます。今年も台風などの影響か、都心での紅葉黄葉と良い出会いがありませんが、近くの公園の現状を撮りました。（11月26日撮影）

① 南大井6丁目駅前住宅の隣にある公園の銀杏です。きれいに色づいてきています。



② しながわ区民公園を俯瞰してみました。（11月26日）紅葉はもう少し、今週末（12月上旬）といったところでしょうか。



先日（11月26日）の区民公園の紅葉は少し早めでしたので、12月3日に改めて行ってみました。今度は美しい紅葉

を観ることができました。



銀杏の黄葉も負けてはいませんでした。



平成30年12月5日
環境記者 真壁美枝子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年12月12日

八潮団地にも「紅葉」がやってきた

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年12月13日

12月に入り、朝晩、急に寒さが増して来た八潮団地も紅葉の時期を迎えました。特に、八潮中通りの紅葉はとても見事で、皆さんのんびり歩きながら、カメラに収めたり、落ち葉を拾ったりしていました。



塩害で心配しておりましたが、赤や黄色の綺麗な葉っぱを今年も楽しむ事が出来ました。また、落ち葉に埋もれた渡り石が、風のいたずらでしょうか・・・？自然の造形美として、まるでアートを見ているようでした。



昼間は12月とは思えないような「暑さ」を感じながら初冬の団地内を歩きましたが、このあざやかに色づいた葉も、もうすぐ吹く木枯らしに振るい落され、木々達も本格的な厳しい冬を迎えることでしょう。

平成30年12月11日

環境記者 石田雅子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年12月13日

花壇の檸檬の木に蕾がついています

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2018年12月18日

私が勤務する東京サラヤ(株)本社旧海岸通側の花壇です。

[平成30年11月28日（水）12：55撮影]



植木の剪定作業をしていましたら季節を間違えたかな？檸檬の木の一部に赤紫の蕾を見つけました。早いのでは？檸檬の開花は5月から6月です。（注：下記）



一方、甘夏の木1本に80個以上の実がなり、そろそろ収穫しないと木が弱ってしまうので、20個ほど収穫しました。



果実の皮の色がまだうっすらと緑色が残る時期に収穫すると、みずみずしく甘い実を食べられるとのことですので中身を確認しましたが、グレープフルーツのように皮が薄く味は酸っぱすぎず、ちゃんとした甘夏でした。

(注)檸檬についてちょっと調べてみました。

檸檬は1年間に何回も繰り返して花を咲かせてくれる「四季咲き性」で、5月中旬～下旬（春花）、8月中旬～9月中

旬（夏花）、10～11月中旬（秋花）と年3回花を咲かせてくれる。
花は「四季咲き性」ですが、木を疲れさせないために春に咲く花を結実させた方がよい。

平成30年11月29日
環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2018年12月18日

聖蹟公園清掃美化活動ほか

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年01月11日

私ども（東京サラヤ㈱）が年に数回行っている聖蹟公園花壇における「みどりと花のボランティア活動」をご紹介します。

毎回社員から有志を募って、早朝実施しています。

平成18年12月14日（金）8:30～8:50

今回は3名が参加し、聖蹟公園のゴミ拾いと花壇の周りの清掃を行いました。

ペットボトルや吸い殻拾いです。



遊具類の目視点検も終えて無事終了、花壇の周りも綺麗になりました。お疲れ様でした。



近いうちに花壇の花植え替えをする予定です。

12月中旬ですが写真におさめました。

品川区と港区にまたがる東八ツ山公園にひまわりが1本だけ咲いていました。

また、旧海岸通り天王洲橋前のツツジにオナシアゲハがいました。ナミアゲハより模様ははっきりとした蝶です。

12月14日（金）朝8時14分撮影



蛹から出たばかりのオナシアゲハ。ひまわりが12月に咲くのをはじめてみました。

平成30年12月14日

環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2019年01月11日

みどりと花のボランティア今年最後の活動報告

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2019年01月11日

2018年12月20日（木）、聖蹟公園の一部花壇を借りて、会社で募った有志が季節の花を植え替えをしました。これは品川区が推進している「みどりと花のボランティア活動」に、活動名「品川フラワーレンジャー」で参加しているものです。

■聖蹟公園内の様子です。

公園の遊具のそばで、親子が遊んでいます。冬の季節感と重なって子供のころの懐かしさを思いながら撮りました。



春に植えた花が枯れず、ようやく植え替えの時期を迎えました。



活動前に花の植え方を生花店から指導をいただいている様子です。



花を手に笑顔が絶えません。

花の配置を考えています。



大きな葉ボタンを花壇奥に植えました。

植え替え終了まであと少し、綺麗になりました。



開始から約40分で植え替え終了。綺麗な花壇がよみがえりました。最後に記念撮影。お疲れ様でした。





■参加者の意見、感想

★土が固く作業は大変でしたが、通り掛かった方々にも「綺麗だね」と声を掛けて頂くなど、綺麗に植え替える事が出来たと思います。

★初めて花の植え替えを体験し、新鮮でした。

★今回初めて参加しましたが、思ったより楽しく上手に植えることができました。

■ビフォーアフター



平成30年12月27日
環境記者 小野文義

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2019年01月11日

八潮花図鑑～平成31年1月～

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年01月18日

平成年号最後の年がスタートしました。晴天続きの東京も、小寒を過ぎると空気の冷たさが増し、お散歩姿にマフラーと手袋とレグウォーマーが必需品となりました。カメラを構える際には、「どうぞ、早く、うまく、写ってください。」と祈ってしまうこの頃です。

赤やピンクの山茶花やボケの花、そして白い水仙はもちろん健在ですが、春は黄色が呼んでくるようです。まずは黄色の面々。



花は咲いていませんが、花の残りの姿あり、また、新しい芽吹きの時など植物たちは多様な顔を冬景色の中で見せてくれました。



3段目は左から白モクレン、ライラック、ハナミズキ。名札が付いていなければ、全然誰だかわかりませんね。



そして、左端は言わずと知れたタンポポ。「冬の間、地面にはりつくように葉をのびします。たくさんの日差しを浴びたり、風をさけたり、乾燥により水分が失われるのをふせぐことができます。」と、『小学館の図鑑NEO 植物』18ページに記載されていました。「真ん中はシソ科のカキドオシ。花のときは茎が立っていますが、花が終わると横にのびます。(同、16ページ)」これも春の植物です。右端はセイロンベンケイ(別名ハカラメ)。「植物の変わったふえ方」コラム(同、105ページ)に載っていた我が家の10年もののハカラメ。子供が多すぎて大きな葉が幾重にも垂れ下がっています。春に向かって、ダイエットしてくれないかなあ。

<参考図書>

小学館の図鑑NEO 植物 発行所：株式会社小学館 発行：2002年7月

平成31年1月13日

環境記者 小滝静子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年01月18日

しながわ区民公園の新春だより

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年01月30日

暦のうえでは、もうすぐ春。とはいえ、まだまだ風が冷たい日々が続いています。最近のお散歩コースは、八潮から大井競馬場をぐるりと廻り込んで大森駅まで行きます。大森駅周辺でちょっと買い物や、お茶のみ後は、しながわ水族館口からトンネルをくぐり、しながわ区民公園のなかを通り大井競馬場側の門から八潮に戻ります。今回は、帰り道のしながわ区民公園で見つけた春をお届けします。

しながわ水族館方面からトンネルをくぐって出ると・・・



右側のコース、子どもの広場入り口の土手には「いちご」??
そして、隣接した梅林には、白梅「玉牡丹」と紅梅「白加賀」



平成31年1月27日
環境記者 小滝静子

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2019年01月30日

今季初の積雪

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年02月19日

北海道では最強の寒気襲来で記録的な寒さ！

9日から10日にかけて都心でも5cmほどの積雪予報！

10日（日）は「花交差点の仲間たち」ボランティア活動の月例日です。

9日朝方から降ったり止んだり、11時頃は吹雪いて積もり始めたので慌てて月例中止にしました。

中止するにあたり積雪状況を撮影しました。

① 花壇の花たちは雪に埋もれていました。



② しながわ区民公園（冬景色）



平成31年2月9日撮影

真壁美枝子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年02月19日

徒然お絵描きノート『梅盆栽』

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年02月20日

2月は冬だが春の訪れを感じる季節である。風は肌を刺すように冷たいときもあるが、春の香りを少し感じるときもある。花鳥風月、四季の恵みなどを考えると日本人の自然観とはなにかを想起する。その根底は原始アニミズム（生物・無機物を問わず、すべてのものの中には霊が宿っているという考え方）であり、あらゆるものに神がやどるといふ八百万の神々という信仰になっていった。

とまあ偉そうな出だしになった。何のことはない。自分が歳を取ったから、歩く速度が遅くなった。結果として歩きながら周りの木々や花、植物を見る機会が増えた。へえ〜、自然はきれいだなあ、不思議だなあ、とトボトボ歩きながら考えることが多くなっただけである。若いときは歩くのが速いから道端の植物など見やしない。最近、歳を取るのも悪くはないなと思うようになった。

さて、今月のお絵描きは梅の盆栽に決めた。というのも、私がいつも利用している事務所に友人が松竹梅を表した寄せ植えの鉢を持ってきてくれたからである。この鉢は、環境情報活動センターが開催した園芸講座で作ったものだそうで、そのとき梅は蕾の状態だったが、室温が高いのでアツという間に開花、一足早く春が来た。



梅の幹は意外と太くて剪定もきちんとされ、いい形をしていた。安い講座参加費の割にはかなりお値打ちのものである。梅が咲いたときは、その美しさに感動した。早速写真に撮った。そのイメージで梅盆栽をパソコン（エクセル）で作画したのが今回の作品である。

今回梅盆栽を描こうとしたとき、25年位前のニューヨークの花屋さんのことを思い出した。びっくりしたのは何と「BONSAI」と名前が付けられ売られていたのである。数も結構あって買う人が多いのだろうと思った。私の盆栽に対するイメージは「手塩をかけてかなりの歳月を費やして育てたもの」なのだが、ニューヨークのものはそんなに年数が掛かっているものはない。なかには盆栽というにはちょっと怪しいものもある。がしかし、そんなBONSAIが人気があるのである。ネットで調べると海外アマゾンではBONSAIがバカ売れしているという。プロが作った一級品は数百万円や数千万円といったものもあるようだが、アマゾンなら数千円で買える。この値段で楽しめるならそれはそれで喜ばしいことだと思う。



平成31年2月14日
環境記者 馬淵 稔

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2019年02月20日

しながわ水族館周辺の現状

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月01日

平成28年度から品川区民公園内の改修工事が段階的に進められ、現在は北側、中央（西側）ゾーンが終了し、南側ゾーンの改修が行われています。しながわ区民公園の南側ゾーンの工事は平成32年7月完成予定です。水族館は平常通り開館しています。

フェンスで囲われて良く見えませんが、高いところから撮りました。



下の写真は改修前の平成28年11月15日に撮影した写真です。

改修が終わった後の「勝島の海」周辺はどんな景色になるでしょう。楽しみです。



平成31年2月21日

真壁美枝子

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月01日

京浜運河の貝の種類数

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月05日

最近は鎌倉と逗子の海岸へ時々通っています。最近の鎌倉の海岸には余りにも多くのプラスチックゴミが見られ、憂慮しています。また海岸へは温暖化による貝類の北上傾向も見られて来ていて、このままではどうなるのか心配しています。

品川区産の海の貝、京浜運河を通じて1975-2017年4月まで見られた貝を年代別にどのくらいの種類が見られたのか、また出現した総種類数をグラフにしてみました。



年により出現に変化が見られています。少ない年と多い年がありますが、観察からはなぜこの様なグラフになるのか、次のように考えています。

観察からは30年周期で東京湾奥に巨大な流れ込みがあり、その流れが生き物の種類増につながっていると思っています。



観察期間内では117種を見つけ出す事が出来ましたが、当初は20種いかないのではと思っていました、それほど

「汚れた海」でした。

途中からは、外来種の侵入もあり、何でこんな所で？と思うような、外海でしか見られない貝も見つかりました、捨てられた貝も結構見られて、それらを排除しての結果です。

平成31年2月27日

環境記者 青野 良平

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2019年03月05日

自然は不思議がいっぱい！

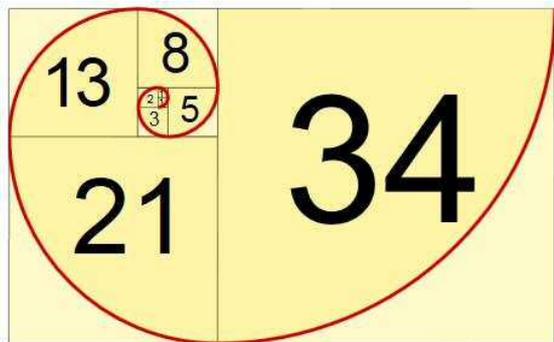
カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月05日

私の事務所には、昨年末環境情報活動センターが開催した園芸講座で作られた寄せ植えの鉢がある。受講した友達もってきてくれたものである。梅も散り、周りの花も時期が過ぎて寂しくなった。それを見かねた同センターの方が個人的に花を買ってきて植え替えてくださった。その中の一つに、クリサンセマム・ムルチコーレという花（名前は後で教えていただいた）があった。部屋が暖かいので、あっという間に開花した。よく見ると花の中心部がヒマワリの種のような形をしていた。その瞬間、ひょっとしてその種っぽいところはフィボナッチ数列になっているのではないかと思った。すぐにスマホで写真をとって拡大してみた。確かに右回りと左回りの螺旋が見える。右回りから数えた。1、2、3、・・・13。お～13だ。つぎに左回りを数えた。1、2、3、・・・21。やっぱり21か。これぞ紛れもないフィボナッチ数列である。



フィボナッチ数列とは、1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, ...のように「前の2つの数を加えると次の数になる」という数列のことで、イタリアの数学者レオナルド・フィボナッチにちなんで名付けられた数列である。



出典：<https://www.mathsisfun.com/numbers/fibonacci-sequence.html>

このフィボナッチ数列は、自然界のさまざまなところで姿を現す不思議な数列である。ヒマワリの種の配列などはその典型的な例としてよく知られている。また、自然界ではない金融関係でも相場の値動きの予測手法としてフィボナッチ比率が使われている。これは投資家の集団心理に自然の摂理が働くと考えられている。人間そのものが自然界の賜物だからなのか、実に不思議である。今回思わぬことで花からフィボナッチ数列に出会えたのだが、自然の奥深さに触れるよい機会であった。

平成31年3月3日

環境記者 馬淵 稔

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月05日

太陽光発電の「卒FIT」って？

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月05日

<太陽光発電の「卒FIT」って？>

住宅用太陽光発電を設置している人や業界にとって、今年一番ホットな話題は「卒FIT」です。

この「卒FIT」というのは、「FITと呼ばれている固定価格買取制度の適用期間が終了し、この制度から卒業する」という意味です。FITをもう少し詳しく説明すると、「太陽光発電普及の支援目的で、住宅用太陽光発電の余剰電気を国民（電気使用者）負担のもと、10年間固定の優遇価格で買い上げる」という、法律に基づく制度です。

いよいよその10年間の期限が到来する「卒FIT」対象者がこの11月から初めて出始め、全国で、その件数、設備容量が、今年だけで約53万件・200万kW、2023年までの累積では約165万件・670万kWもの規模に上るといわれています。（下図参照）



（経済産業省資源エネルギー庁「住宅用太陽光発電設備のFIT買取期間終了に向けた対応」2018年9月28日付け資料より）

別の経産省の公表データによると、品川区では当初600軒ほどが対象になるようです。

太陽光発電設備は、通常であれば10年以上余裕で働いてくれます。支援を受けてきた太陽光発電設備が「卒FIT」になったからといって発電をやめてしまったら、社会的な損失になります。設置者にとっても非常時に心強い電源という役割を果たせなくなります。

では「卒FIT」後どうすればいいの？というのが、大変重要なテーマになります。

一般には「FITで優遇されて、もう十分モトが取れたでしょ」と誤解されますが、10年前あるいはそれ以前に住宅用太陽光発電を設置した方は、当時の費用が大変高かったため、このFITや補助金などを入れても全く元など取っていないのが実際です。

そんなことは初めから分かっている、採算のことは置いておいて、環境に良いと思うことを率先してやりたいとか、非常時にも備えたいからとの思いの方が中心だったはずですが、「卒FIT」後、経済的に有利な行動を検討することは合理的でしょう。

おおかまに言って次の2つの対策が考えられます。

- (1) 燃料費だけの太陽光発電の自家消費を増やし、電力会社から買う量を減らす
- (2) 従来よりは安くなるが、より高い単価で電気を買ってくれる電力会社を探して契約する

無知や不安に付け込んだ高額商品の売り込み等やトラブルも想定され、政府としても下記のページで周知活動を開始していますから、関係する方はぜひご一読ください。

- 「どうする？ソーラー」（経済産業省資源エネルギー庁特設ページ）
http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/solar-2019after/

まだまだ情報が出そろっていませんし、時間の余裕もありますので、よく理解できないものに慌てて飛びつかないことが肝心です。

ちょっと長くなりましたので、具体的な対策方法などについては、次の機会にまた触れたいと思います。

平成31年3月4日
環境記者 林 彰一

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月05日

第36回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2019年03月13日

環境情報活動センターは、環境記者制度を運営しています。環境記者登録をした品川区在住、在学、在勤の方に、身近な環境情報をメールでお寄せいただいています。投稿された記事は、環境情報活動センターのホームページに掲載されます。また、年に2、3回、記者さんが集まって情報交換会を行います。

平成31年3月6日(水)に、第36回環境記者情報交換会を開催しました。今年度最後の会合となります。環境記者の皆さんに、日頃の活動の様子や、興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。一部をご紹介します。



青野さんは、1975年から2017年まで、京浜運河の貝の観察を続けてこられました。観察をやめたのは、海岸への立ち入りが厳しくなったからだそうです。42年間の観察データをまとめて記事にされました。採取した107種の貝の一部を持参してくださり皆で回覧しました。

「京浜運河の貝の種類数」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3854>

真壁さんは、長きにわたってボランティアグループ「花交差点の仲間たち」で、地元の環境整備に努め、近隣の歩道の清掃と花壇の整備を行っていらっしゃいます。今回は、「花交差点の仲間たち」の活動報告に加え、今季初の積雪やしながわ水族館周辺の現状、衣類のリメイクなどについても報告されました。

「衣類のリメイク紹介」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3573>

小野さんの会社（東京サラヤ（株））では、社員から有志を募り、「品川フラワーレンジャー」という活動名で年数回、聖跡公園花壇で「みどりと花のボランティア活動」として、清掃と整備を行っています。その活動報告に加え、社内の食草園の生育状況や品川宿まちづくり活動行灯プロジェクトの様子などを報告されました。

「LED灯籠で街を明るく」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3612>

石田さんは、先ごろ旅行されたモロッコの写真とともに、日本とは地理的利条件の異なるモロッコのエネルギー事情などについてお話されました。また、台風が及ぼす樹木への塩害の影響の記事も投稿されています。

「秋の緑道公園を歩く」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3637>

八潮にお住まいの小滝さんは、美しくタイムリーな写真とともに「八潮花図鑑」をシリーズで投稿してくださっています。また、品川区が貸し出している騒音計を使って行った観測結果を報告されました。

「騒音計を使ってみました」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3547>

馬淵さんは、新たに記者登録をされ、今回が初めてのご参加です。環境情報活動センターの講座「お正月の寄せ植え」で製作した寄せ植えから着想を得て、「梅盆栽」をエクセルで作画されました。また、自然界のさまざまなところで姿を現す不思議な数列「フィボナッチ数列」が、花の芯に見られることを説明してくださいました。「フィボナッチ数列」は貝にも当てはまると、青野さんからご指摘がありました。

「自然は不思議がいっぱい！」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3887>

今回は出席されなかった、林さん、真田さんからも、興味深い記事をご投稿いただいています。

「太陽光発電の「卒FIT」って？」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3894>

「ダンボールコンポストを始めて1年が経ちました」

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?p=3564>

環境情報活動センターのホームページに環境記者さんが投稿してくださった記事が掲載されています。よろしかったらご覧になってください。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=18>

区民の皆さまにお気軽に環境記者活動に参加していただけたら幸いです。

カテゴリ : ◆情報交換会

投稿日 : 2019年03月13日

しながわ早春賦

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年03月13日

♪春は名のみ 風の寒さや 谷のうぐいす 歌は思えど
時にあらずと 声もたてず 時にあらずと 声もたてず♪

七十二候では、蟄虫啓戸（すごもりむしとをひらく）から桃始笑（ももはじめてさく）へと移っています。この時期、生命は活発に動き始めるため、1週間どころか2～3日で様子が変わってしまいます。しながわ周辺の命の芽吹きをお楽しみください。

- 2月27日 グランドプリンス高輪の河津桜



- 3月2日 京浜運河の菜の花とイトーヨーカドー大森脇の河津桜



- 3月2日 区民公園の沈丁花と白梅「豊後」「薄色縮緬」



- 3月7日 天王洲アイルから東京海洋大学方面を写す



- 3月7日 天王洲アイル第三水辺広場



- 3月8日 しながわ中央公園のハクレン



- 3月9日 こみゆにていぷらぎ八潮の山茱萸（さんしゅゆ）の花と木肌



- 3月10日 八潮南赤ちゃん公園のユキヤナギとクロッカス



平成31年3月11日
環境記者 小滝静子

カテゴリ: 平成30年度

投稿日: 2019年03月13日

【桜】 ヨウコウ（陽光）南大井3丁目沿道満開！

カテゴリ：平成30年度

投稿日：2019年04月01日

桜の代表といえば 「ソメイヨシノ」
平成最後のサクラの開花宣言に皆一喜一憂
東京では3月21日開花宣言！

一足先に南大井3丁目沿道にある桜「ヨウコウ」が満開です。
ソメイヨシノより早く開花し、花は一重で大輪、鮮やかなピンク色です。
ヨウコウ（陽光）は日本原産の交雑種のサクラ、アマギヨシノ（天城吉野）と
カンヒザクラ（寒緋桜）を交雑させて作出した園芸品種で1981年に登録されたそうです。

【ja.wikipedia.org/wiki/】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A8%E3%82%A6%E3%82%B3%E3%82%A6>



3月24日（日）は大井海岸町会 防犯部の清掃パトロール
終了後一部のメンバーで桜の下で記念撮影しました。

平成31年3月24日撮影 真壁美枝子

カテゴリ : 平成30年度

投稿日 : 2019年04月01日